

拓新産業株式会社 管理部
小金丸 正人 氏

『道』

私は幼い頃、病弱だったという事と父や叔父の影響を受け小学5年生の頃より空手道を始めました。正直、当時は影響を受けたというよりも気が付いたら道衣を着て道場に行かされてというのが本音です。

あの頃は見たいテレビ番組を見ることができず次日に学校で話題なっていても全くついていけなかつたので何で自分だけが…と思っていました。

正月の初稽古の日に師範より今年の抱負を言いなさいと言われとっさに「休まずに練習にきます」と言ったのを今でも覚えてています。

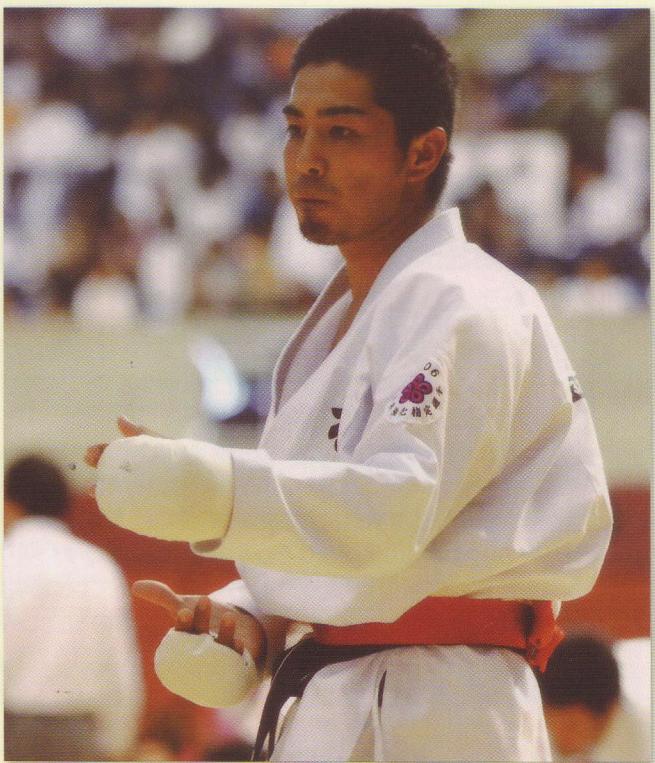
休まなかったからというわけではありませんが小学6年生になると特に病気もせず県大会に出場する事が

出来るようになりました。この頃ぐらいに初めて自分から空手道をやっていきたいと思えるようになってきました。

中学校では空手道部がなかった為バレー部に入部し、週2回の道場に欠かさず行き、高校では空手道部に所属していました。

高校卒業後は指導しながら練習に参加する程度でいいかなと思っていました。

叔父の長男を指導していると「なんで僕だけきつい思いをしないといけないの」と言われました。確かに口先だけでは何も伝わらない、春から大阪の高校に行くのでそれ



までに自分の勇姿を見せたいという思いから練習に打ち込みました。結果、小さな大会ではありましたが優勝することができ、後に二度目の挑戦となる全日本空手道連盟剛柔会の全国大会で軽量級(-65kg)の部で優勝することができました。

毎年、全国大会に出場して年に1度しか会わない他県の方ともコミュニケーションが取れまた頑張ろうという気持ちになります。

現在は福岡県糸島市で「創魂塾」という道場で指導員として子供たちに空手道を教えながら練習をしています。今後の目標としてはもう一度、全国大会で表彰台に立ちたいというのと40歳から出場できるマスターズに向け日々、練習に励んでいます。

険しい道のりではありました。私はこの空手道という道に進めた事を今では感謝しています。

